

1 はじめに

会員の皆様方におかれましては、校友会活動へのご理解、ご協力に対し、紙面をお借りして感謝申し上げます。

今年度は、鉄道では上野東京ライン、北陸新幹線の開業、道路では首都高速中央環状線、圏央道の開通等、「つながる」プロジェクトの完成が目白押しの1年となりました。

そして、いよいよ、本校友会も記念すべき50周年を迎えます。事務局の体制も増強し、記念誌の編集作業も始動しました。記念に残るものとなるよう頑張りますので、寄稿や情報提供等、ご協力よろしく願いいたします。

本校友会の財産は、企業、行政の垣根を超えて、また先輩、後輩の世代を超えて、「つながる」ことができるところにあると思います。「つながる」ことにより、発揮できる底力こそが強みではないでしょうか。

校友会活動がより活発に行われるように、皆様方のご意見を伺いながら、事務局一同、知恵を絞ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

2 平成26年度の活動状況

○大学本部関係

6月20日に日本大学理工学部校友会通常総会が開催されました。

○幹事会 平成26年7月17日(木) (於)さいたま市民会館うらわ

幹事さんにお集まりいただき、平成26年度の名簿作成と会費の徴収をお願いすると共に、平成25年度事業計画と平成26年度事業計画(案)について説明いたしました。出席者は15名でした。

○役員会・幹事会 平成26年9月17日(水) (於)埼玉会館

役員と幹事さんにお集まりいただき、平成26年の総会議案(事業計画、予算、決算、会則改正及び役員の改選について)を御審議いただきました。出席者は30名でした。

○平成26年度総会及び講演会 平成26年10月25日(土) (於)ときわ会館

総 会



講演会



御来賓として理工学部から齋藤利晃先生、工学部から堀井雅史先生、日本大学校友会埼玉県支部の堀部和政様をお招きし、母校の状況などにも触れていただいた御挨拶を頂戴いたしました。総会は54名の会員に出席をいただき、25年度の事業報告と決算、26年度の事業計画と予算、会則改正及び役員の改選を審議し、原案のとおり承認されました。

総会後は川越市都市計画課の小林武様から『東日本大震災津波被災地「岩手県大槌町」の応援職員としての1年間』について、御講演いただきました。平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、岩手県大槌町にも甚大な被害をもたらしました。町長以下40名が被災死、行政機能が麻痺するなか、復旧から復興へと計画を進めるため、小林様は平成24年4月から1年間、復興まちづくり事業を担う技術者として業務にあたられました。

業務内容は、防災集団移転促進事業による高台への住宅再建を進めるため、1年間で60回にもものぼる住民懇談会を開催し、住民参加による復興計画の作成をすすめてこられました。

今回の講演では、用地確保等なかなか進まない復興への課題、震災を風化させない取り組みなど、被災地では継続的な支援活動が求められていることを認識する良い機会になったと感じています。小林様ありがとうございました。

今後も、会員皆様からの積極的な発表を期待しております。どうぞよろしく願いいたします。

## ○現地見学会 平成26年12月6日（土）

今年度は県北部地域に向かい、行田の武蔵水路改築事業現場、国宝の妻沼聖天山、深谷の旧レンガ製造施設ホフマン輪窯などを見学しました。

### ①武蔵水路改築事業現場と行田市郷土博物館

武蔵水路は、通水機能の回復や耐震化などを図るため、改築事業が進められています。独立行政法人水資源機構の皆さんに事業概要を解説していただきました。

行田市街に移動し、忍城御三階櫓と行田市郷土博物館を見学しました。入館前に行田市都市計画課の方に同市の「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」の取組を紹介していただきました。館内では、御三階櫓を各自見学後、学芸員の方に博物館の展示を解説していただきました。

### ②妻沼聖天山

移動する途中に、「聖天寿司」の特別メニューの昼食をとり、聖天山に向かいました。

聖天山では、国宝・歎喜院聖天堂（かんぎいんしょうでんどう）のグループと、貴惣門などのある境内をまわるグループに分かれて見学しました。それぞれ、「めぬまガイドボランティア 阿うんの会」の皆さんに案内していただきました。

### ③旧煉瓦製造施設ホフマン輪窯

深谷方面に移動し、ホフマン輪窯を見学しました。日本煉瓦製造株式会社の煉瓦製造施設で、国指定の重要文化財となっております。ここで製造された煉瓦は、東京駅や東宮御所（現赤坂迎賓館）などに使用されたとのこと。近くには、煉瓦を深谷駅に運ぶ専用路にあった備前渠鉄橋（プレート・ガーター橋）も残されており、こちらも併せて見学しました。

#### 国宝・歎喜院聖天堂



#### ホフマン輪窯内部



今年度の見学会は、会員の技術力の向上だけでなく、先人が残した土木遺産・建築遺産に触れることができました。大勢の御参加、ありがとうございました。

平成27年3月